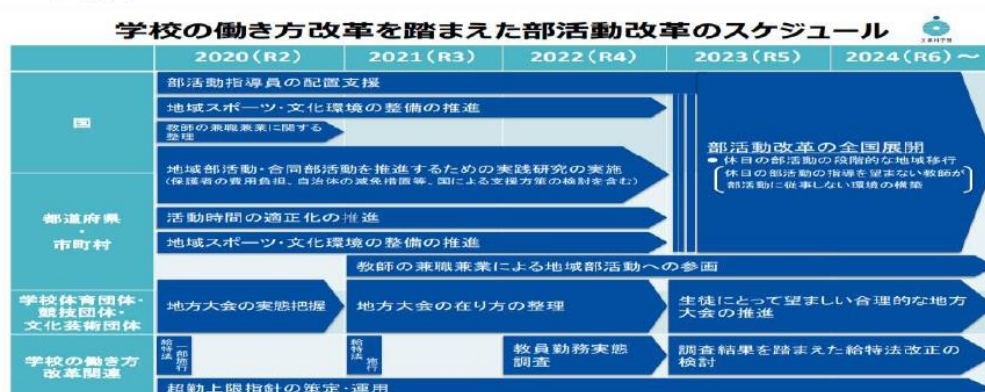


～ドリームアカデミー設立計画～

1. 子供達の健康と教育の為のアカデミーであれ
2. 子供達の夢と希望となるアカデミーであれ
3. 関わる全ての人が笑顔になれるアカデミーであれ
4. 関わる全ての人が地域の有益な人材となる為の教育の場としてのアカデミーであれ

<現状>

文部科学省における部活動改革の通達により、今後土日の部活動が無くなる、特定の部活（野球・サッカー等）が無くなり「体力づくり部」など大まかな部活動の内容になる予定とのことです。



皆様は部活動をどのようなものと考えていますか。

「スポーツの振興、体力の向上、自己鍛錬の場、上下関係を学ぶ場」等の様々な考えがあると思います。どの考えも間違いではありません。

部活動の意義とは、体力や技能の向上を図る目的以外にも、様々な人との交流の中で、友達関係を築き、好ましい人間関係の構築を図る。自分自身がやりたいものを選択する場であり、学習意欲の向上や自己肯定感、責任感、連帯感を学ぶ場としても極めて大きな意義をもつ教育活動が部活動です。

だが最近では、先生（顧問）の過剰な業務負担が問題となっております。

先生達の負担を減らすために、「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革」が文部科学省より通達されました。部活動は必ずしも先生が行う業務ではない為、「休日に先生が部活動の指導に携わる必要がない環境」が今後作られていくとの事です。

結果、来年度から土日の部活動が無くなり、3年後には、全ての部活動が無くなってしまう可能性があります。改革が進む事で、子供達が部活動を継続して行く環境が無くなってしま

部活動を行う環境が無くなると子供達が「何をやりたいのかを選択する機会」が減ってしまうと共に、「夢を持つきっかけ」や「共通の趣味・目標を持つ友達関係を築く機会」が減ってしまうこととなります。

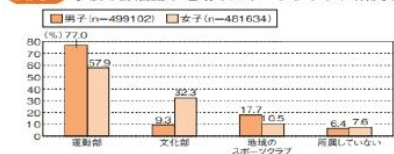
子供達に夢を持ってもらう環境を与えたい。様々な経験・体験をしたい子供達の為に、部活動の代わりとしてドリームアカデミーの設立を目指しております。

### <ドリームアカデミーの目的>

中学校の部活動のメリットは「あまりお金もかからない」「様々な種類が選べる」というところです。今後部活動の制限が進むと、「友達関係が減る」、「部活動を高校生になってもやりたい、名門校に行っても後も頑張りたい」という目標さえ子供達がもてなくなってしまいます。

【アカデミー】では子供達が夢をもってもらえる環境を作り、様々な体験が出来る場所として活動していきます。

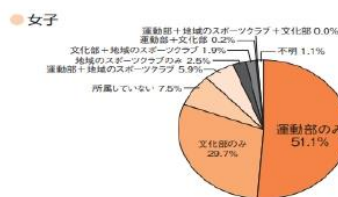
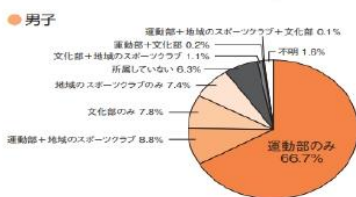
質問5 学校の部活動や地域のスポーツクラブに所属していますか。当てはまるものを全て選んでください。



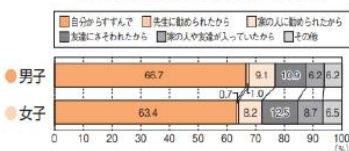
質問5 の複数回答の内訳

※複数回答のため、各選択肢の回答内訳には、下記のような組み合わせが存在する。

- 例：①運動部と回答した場合  
 「運動部のみ」「運動部+地域のスポーツクラブ」「運動部+文化部」「運動部+地域のスポーツクラブ+文化部」  
 ②文化部と回答した場合  
 「文化部のみ」「文化部+運動部」「文化部+地域のスポーツクラブ」「文化部+運動部+地域のスポーツクラブ」



質問5-3 質問5 で、「運動部」「地域のスポーツクラブ」と答えた人は、そこに入った一番強いきっかけはどのようなことですか。1つだけ選んでください。



子供にとって、自分自身で夢や目標を見つける事はとても難しい事ですね。親御さんから、様々な話を聞いたり、見たりして夢や目標は決まっていますよね。

中には、目標や、やりたい事が既に有り、進んで部活動を始めた子供達も居ますが、今、自分が「何をやりたいのか」、「何をしたらいいのか」がわからない状況の中で、「友達がやっているから自分も始めてみよう」や「親に勧められたからやろう」と部活動を始める子供達も多く居ます。いざ始めてみると「自分が希望している条件ではなかった」、「イメージしていたものと違った」と始めたことを後悔することや、「ママが言ったから自分は始めたのに・・・」と最終的に人のせいにしてしまう事もあります。

将来への選択肢が狭くなっている世の中、未来ある子供達の大事な時期に無駄なマイナスの記憶を残さず、輝ける可能性を広げていきたい。

【アカデミー】では「スポーツ」だけでなく、スポーツが苦手な子でも選択が出来るよう「文化系」、「芸能系」、「勉強」など幅広く子供達を応援していきたいと考えております。子供の頃から夢や目標を見つける為の体験が出来る場所を【アカデミー】とし、小学校1年生から入会できます。

まず、【アカデミー】では「スポーツ」、「文化系」、「芸能系」、「勉強」と子供達自らが様々な体験をし、やりたい事を始めるきっかけを作っていきます。体験する事で、「自分自身でやりたい事を選択する機会」を増やしていきます。その他にも「パソコン関係を詳しくになりたい」、「イラストレーターになりたい」などの様々な夢を持つ子供達があります。その夢を諦める事が無いように幅広い知識・経験がある方に集まって頂き、子供達のやりたい事や夢に合わせて教えられる環境を整えていきます。

2021年度

第15回 男子児童		
順位(前回)	職業	票数
1 ( 1 )	サッカー選手・監督など	123
2 ( 2 )	野球選手・監督など	97
3 ( 3 )	医師	78
4 ( 6 )	ユーチューバー	72
5 ( 5 )	ゲーム制作関連	62
6 ( 4 )	会社員・事務員	59
7 ( 11 )	プロゲーマー	43
7 ( 9 )	建築士	43
9 ( 11 )	飼育員	41
10 ( 7 )	料理人・シェフなど	39

第15回 女子児童		
順位(前回)	職業	票数
1 ( 4 )	医師	104
2 ( 2 )	看護師	91
3 ( 3 )	保育士	90
4 ( 8 )	イラストレーター	84
5 ( 7 )	教師	78
6 ( 1 )	薬剤師	71
7 ( 9 )	美容師	64
8 ( 6 )	パティシエール	60
9 ( 4 )	獣医	48
10 ( 29 )	会社員・事務員	36

何をやりたいのか自分自身で選択し、挑戦している中、万が一子供達が親御さんを責めても「自分で見て・体験して決めたことですよ、責任もってやりなさい」と言いやすくなり、そのような環境を可能な限り作っていければ親御さんも苦勞せず、子供の後押しをすることが出来ます。

【アカデミー】を設立し、活動する事で様々な社会問題を無くしていくことも考えております。

<今の世の中>

現在、共働き世帯や、シングルマザー世帯がとも増加しています。働く親御さん達は常に「子供達が危ない所で遊んでないか」、「知らない人に連れていかれてないか」等の心配をしています。

- ① 虐待
- ② いじめの問題
- ③ 子供に対する犯罪
- ④ 誘拐 など、子供達を巻き込む社会問題が多く挙げられ、問題となっております。



① 虐待について

令和2年度では、「心理的虐待」の割合が1番多く、次に「身体的虐待」でした。「心理的虐待」が急増した要因として、子供の目の前で配偶者や家族に対して暴力をふるう・暴言を吐くなどの事案について警察からの通告が増えたようです。



また、平成30年4月1日から令和2年3月31日の間に発生した児童虐待死事例が72件（78人）に及んでいます。

(1) 死亡事例

厚生労働省が、都道府県、指定都市及び児童相談所設置市（以下「都道府県等」という。）に対する調査により把握した、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの間に発生し、又は表面化した子ども虐待による死亡事例72例（78人）を対象とした。  
※（ ）内は、都道府県等が虐待による死亡と断定できないと報告のあった事例について、本委員会にて検証を行い、虐待死として検証すべきと判断された事例数を内数として記載。

区分	第17次報告			（参考）第16次報告		
	心中以外の虐待死	心中による虐待死（未達を含む）	計	心中以外の虐待死	心中による虐待死（未達を含む）	計
例数	56(35)	16(3)	72(38)	51(22)	13(2)	64(24)
人数	57(35)	21(6)	78(41)	54(22)	19(3)	73(25)

（未達とは、親は生存したが子どもは死亡した事例をいう。）

心中以外虐待死では「身体的虐待」「ネグレクト」が多いのが現実で、心中による虐待死では「保護者の精神疾患・不安」「経済的困窮」が多いです。

虐待による体罰等は良くないとわかっているにもかかわらず、親御さんの様々な状況や理由によって、それが難しいと感じられる事もあります。しかし、大半の親御さんは自分達が望んで子供を授かったのだと思います。自分の命より大事な子供・未来がある子供なのに、将来を奪ってしまう事は絶対にあってはなりません。

(解決策)

虐待を受けている子供達が、大人へ事情を話してくれる事は稀なケースです。まず子供達が安心できる環境を作っていきます。子供達と接する時間を多くとることで、子供達の異変にすぐ気付けるようにしていきます。学校は、1クラスに40人程の生徒がいます。多くの子供達を先生は1人で受け持っている為、一人一人に十分な時間を割く事は難しい状況です。当アカデミーは子供5人に対して1人のスタッフで見るとし、一人一人の子供達を見てあげる・触れ合える環境を作っていきます。

万が一何か異変があった際は、「どうしたの？何かあった？」とこちらから聞いてあげるようにしていき、子供達が事情を話しやすい環境が出来るようにしていきます。

また、【アカデミー】では、子供達のヒアリング、身体測定、体調管理等を月に1度は行っていきます。その際にも子供達の言動に異変が無いか、身体に異変が無いか等も注意深く見ていきます。

虐待をしてしまう理由としては、ストレス・金銭的要因なども挙げられています。

【アカデミー】では、学校終わりに子供達をお預かりし、ご希望の方は夜ご飯まで提供する事で、親御さん達の時間にゆとりを作っていきます。親御さん達がゆとりを感じる事で、ストレスの軽減がされ、子供と笑顔で過ごせる時間が増えます。その結果、虐待が生じる可能性が減る事と思われれます。

子供達は、「塾に入りたい」、「クラブ活動がしたい」などやりたい事を言ってくれます。

しかし塾もクラブ活動も無料ではなく、費用が高額に掛かってきます。

1 学習費全体の状況

(表1)

■ 保護者が支出した1年間・子供一人当たりの学習費総額 (保護者が子供の学校教育及び子供の外活動のために支出した経費の総額) (注: 以下のとおり)

表1 学校種別の学習費総額

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和元年度
合計	3,321,647	3,277,934	3,311,393	3,586,691	4,008,397	4,408,433
公立小学生	1,051,136	1,111,576	1,111,576	1,111,576	1,111,576	1,111,576
私立小学生	2,270,511	2,166,358	2,200,000	2,475,115	2,896,821	3,296,857
公立中学生	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
私立中学生	1,321,647	1,277,934	1,311,393	1,586,691	2,008,397	2,408,433
公立高校生	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
私立高校生	2,321,647	2,277,934	2,311,393	2,586,691	3,008,397	3,408,433

公立小学生 214,451円/年 (17,870円/月)

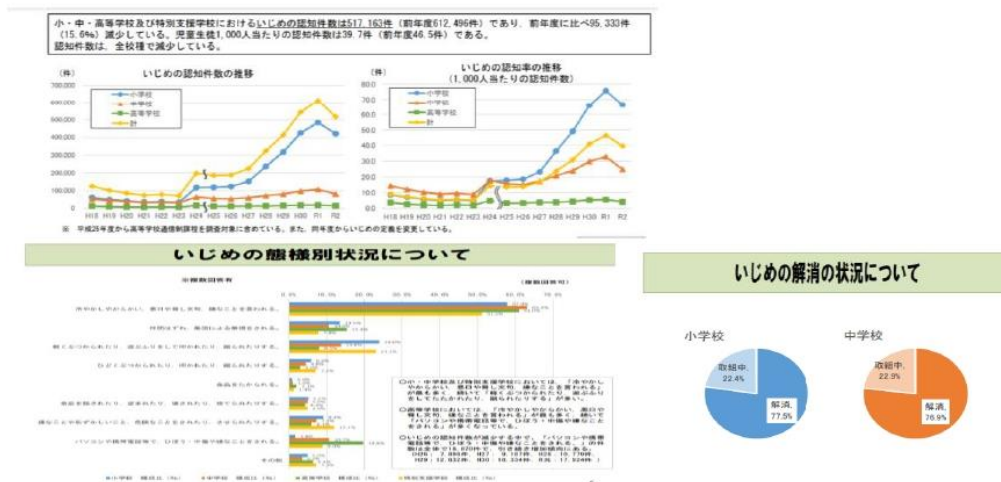
---

私立小学生 646,889円/年 (53,907円/月)

【アカデミー】を利用して頂く料金は、月5000円、食事希望の方は1食250円で提供できるよう検討している為、経済的負担も和らげる事が出来るかと思えます。

## ② いじめ問題について

いじめの認知度については令和2年度は減少傾向にあります。学校側が認知しているいじめの数が1校あたり14.1件と、まだいじめ自体が多い事が現状です。



直接や陰で嫌な事・バカにされるような事を言われる状況がとても多い事、無視されたり、物を隠されたりと子供の心に深く傷をつけます。いじめは半数以上解消されているとの結果が出ていますが、子供達の傷が癒えるには長い時間が掛かってしまいます。親や学校に相談する事で更に悪化したという事例もあり、相談出来ずに溜め込んでしまう子供達が居ます。学校に行くことが嫌になってしまう事で、長期間不登校になる子供達が出てきてしまいます。

### （解決策）

入会している全ての子供達へ「いじめとは何か」をまず教えていきます。「いじめ」の根本がわからない子供達が多く居るようで、いじめをしてしまった子供達の中には「自分がしたことがいじめとは思わなかった」と言う子供もいます。いじめをしたつもりが無くても、相手にとっては、いじめに値することもあり、「どのような事がいじめに値するのか、傷つくのか」の理解を深め、「いじめは人として絶対許されない」という認識を持ってもらう場を設けていきます。

また、「人の嫌がることを言わない」、「意思を主張できる」、「先生や家族に相談ができるコミュニケーション能力」を教えながら、「いじめられない方法」を子供達に身に付けていただきます。

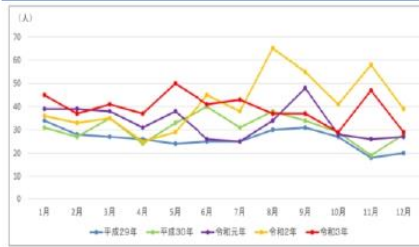
令和元年(平成31年)及び令和2年における児童生徒の自殺の原因・動機別表①(厚生労働省・警察庁)  
～原因・動機数における上位10項目～

令和元年の順位	小項目	令和元年の人数	令和2年の人数(順位)	大項目
1	学業不振	43	52(2)	学校問題
2	その他連絡に関する悩み	41	55(1)	学校問題
3	親子関係の不和	30	42(3)	家庭問題
4	家族からのしつけ・叱責	26	26(6)	家庭問題
5	病気の悩み・影響(その他の精神疾患)	26	40(4)	健康問題
6	その他学友との不和	24	26(7)	学校問題
7	入試に関する悩み	21	18(8)	学校問題
8	病気の悩み・影響(うつ病)	20	33(5)	健康問題
9	失恋	16	16(9)	男女問題
10	その他文脈をめぐめる悩み	13	5(17)	男女問題

※児童生徒の自殺の原因・動機については、令和2年(平成31年)の調査より4つの調査項目(学校問題・家庭問題)が、令和元年(平成30年)の調査より5つの調査項目(学校問題・家庭問題・男女問題・健康問題)に増え、令和2年(令和元年)の調査より6つの調査項目(学校問題・家庭問題・男女問題・健康問題・その他学友との不和)に増え、令和3年(令和2年)の調査より7つの調査項目(学校問題・家庭問題・男女問題・健康問題・その他学友との不和・その他連絡に関する悩み)に増え、令和4年(令和3年)の調査より8つの調査項目(学校問題・家庭問題・男女問題・健康問題・その他学友との不和・その他連絡に関する悩み・その他学業に関する悩み)に増えています。

注：令和2年(令和元年)の調査より、令和3年(令和2年)の調査より、調査項目が1つ増え、令和4年(令和3年)の調査より、調査項目が2つ増えています。

児童生徒の月別自殺者数[推移]①



年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成29年	34	26	27	28	24	25	25	30	31	27	18	20	315
平成30年	31	27	35	24	33	40	31	38	34	29	19	28	399
令和元年	39	36	38	31	38	26	25	34	48	28	26	27	399
令和2年	38	33	35	29	29	45	38	65	55	41	58	39	499
令和3年	45	37	41	37	50	41	43	37	37	29	47	29	473

出典：「自殺の統計」地域における自殺の基礎資料(警察庁)及び自殺の統計、各年の状況(警察庁)を基に作成。

現在いじめられている子供・悩んでいる子供が中にはいることでしょう。その子供達が「一人で悩まないでいい環境」を【アカデミー】で作っていきます。

勉強についての悩み、親子関係の悩み、いじめられている悩みなど、他の人には言えず溜め込んでしまった結果、自殺してしまう子供達の数が年々増えています。自殺に繋がってしまう原因は様々ですが、【アカデミー】では、子供達と接する時間を多くとり、一人一人の子供達と触れ合い、信頼してもらう事で、悩みを話しやすい環境を作っていきます。万が一、何か異変があった際は、「何かあった？」とこちらから聞いてあげるようにしていき、子供達に負担が掛らないような話の聞き方をしていきます。更に、カウンセラーやスタッフが子供達の気持ちに寄り添い、「味方だよ」と安心感を与え、相談に乗りながら「しんどい」と思っている子供達の心を少しでも救っていけるよう子供達との人間関係の構築に注力していきます。

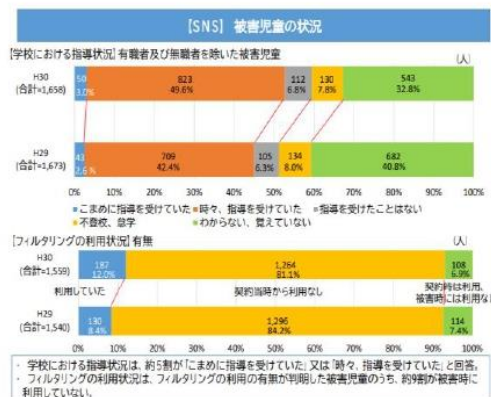


### ③ 子供への犯罪・誘拐について

誘拐・犯罪をしてくる人は、子供の興味を引くために言葉巧みに話しかけてきます。

「お母さん（お父さん）が呼んでいるから車に乗って。」「〇〇小学校はどこ。」「お菓子あげるよ」等巧妙な話術を使います。塾に通っていた子供が、塾終わりの帰宅中に誘拐されるなどの事件もありました。

また、携帯電話やスマートフォンを利用している子供の割合は、中学生で約6割、高校生では9割以上に達しています。子供がコミュニティサイトを通じて知り合った面識のない大人に脅されたり、言葉巧みに騙されたりする被害が増加傾向にあります。



### （解決案）

共働きやシングルマザーの世帯も多く、親が常に子供達と居られない状況が多いです。下校中に怪しい人に会う可能性も高いです。その危険性を考え、危ない環境を少しでも減少する為に【アカデミー】では、学校が終わった放課後から子供達に来ていただき、親御さんが迎えに来るまでしっかりお預かりします。

また、SNS が危険等の指導を受ける機会もあるようですが、重く受け止めず、アクセスしてしまう子が増えてきており、親が危ない事を伝えても、軽くあしらわれる事も多いかと思えます。その為、危機感をもつ・危ない事を理解する・認識してもらう活動を【アカデミー】でも行っていきます。

深刻な社会問題がある事から【アカデミー】では、現在の「学童」のように学校終わりの放課後から子供達をお預かりします。

#### <活動場所>

放課後にみんなで宿題や勉強をしたり、子供達がやりたい事を体験しながら親御さんのお迎えを待ちます。

【アカデミー】を設立するにあたり、地域の学校を借りたいと考えております。その理由として、設備投資の費用も掛からない事で、安価に提供する事が出来る事と学校を借りる事で収容人数の心配が無くなります。

そして、柏全域の学区単位に1つ【アカデミー】を設ける事を目標にしております。

全学区で活動する意味として、学区内であれば近所に住んでいる為、子供達も通いやすくなります。場所が遠いと通う事が大変になり、通っている道中に事故や犯罪に巻き込まれてしまう確率が上がってしまいます。

その為、学区内につくり子供達への犯罪・事故減少に繋げていきます。

場所が遠いとお迎えの時間が遅くなってしまふ事が考えられる為、親御さんにも負担が掛かってしまいます。

学区内で【アカデミー】を行う事により、同じ学校に通う近所の子供達との関わりや親同士のコミュニケーションも取る事ができます。

「相談できる人が身近にいなかった人」や「シングルマザー、シングルファザーで子育てに関して悩んでしまっている人」や「1人目の子育てで分からないことが多く検索ばかりに頼ってしまっていた人」など、一人で抱え込まず相談出来る場としても活用していただけます。

【アカデミー】では、「生徒の多様な学びの場」として、子供達と密にコミュニケーションを取りながらやりたい事の体験や、勉強をしていきます。

#### <アカデミーが行う教育スケジュール>

16:30 学校終わる  
↓  
↓学校の宿題・復習・予習をする。  
17:30  
↓  
↓子供達がやりたい事を体験する。(スポーツ・文化系・芸能系・勉強等)  
↓※手が空いているスタッフは、宿題の添削等行う※  
18:30  
↓  
↓ご飯の準備は当番制にする。  
↓カウンセリング・いじめについて等の勉強会  
(勉強会等は、人数を決めてグループ毎に行っていく。)  
19:00  
↓  
↓夜ご飯  
↓親御さんと一緒に勉強の予習・食育・防災等の話  
↓  
↓帰宅

【アカデミー】のスケジュールですが、学校終わりの放課後 16:30 頃から子供達をお預かりし、学校から出た宿題や、授業で解らなかつた箇所の復習、明日の予習などをスタッフ・友達と楽しみながら勉強していきます。その後、子供達が様々な体験・経験をする時間とします。18:30 頃からは、ご飯の準備をするグループ・いじめや社会問題を勉強するグループ、カウンセリングをするグループへとわかれて活動を行います。

虐待、いじめの問題、子供に対する犯罪、誘拐など、子供達を巻き込む社会問題が今の世の中には沢山あります。その問題を親御さん達がきちんと一つ一つ説明をして、子供達へ理解して頂く事はとても時間が掛かり大変な事です。

親御さんの代わりとして【アカデミー】では時間をかけながら、社会問題における認知度を高め、子供達が犯罪に巻き込まれないよう知識を身に付けてもらいます。また、いじめをしない・させない環境をつくり、周りの子供達が嫌な思いをせず楽しく過ごしていただけるよう取り組みます。

19 時頃から夜ご飯の時間とします。親御さんも一緒に参加して頂き、人と人とのコミュニケーション、人間関係の大切さ、食育、防災、防犯についてもレクリエーションを混ぜ込んでいきながら、人としての教育を楽しく学んでいけるよう検討しています。また、「今〇〇勉強しているよ」「難しいな・・・」など子供達がどのような勉強をしているのか把握して頂き、子供達の話に耳を傾けてあげて欲しいです。更に親御さんは「そんなのね、わからない事あったら聞いてね」など、何気ない会話を大事にしながら子供達とコミュニケーションを取り、子供達の勉強の内容を把握する事が出来る良いきっかけになるかと思います。

教育の場だけでなく、子供達が、興味をもっているもの、やってみたいものへ体験し、肌で感じることで、「夢をもつきっかけ」を無くさないように取り組んでいきます。

【アカデミー】では、親御さんへのフォローもしっかりしており、負担を軽減する仕組みを入れていきます。

#### <親御さんの負担を軽減する取り組み>

① 「家事に疲れたな」「仕事から帰ってきてご飯作りたくないな」と思う事はありますか。そのような親御さんの負担を少しでも減らす活動に取り組んでいきます。

【アカデミー】では、希望する子には毎日夜ご飯を提供し、迎えに来る親御さんに対しても同じく希望があれば提供いたします。その夜ご飯とは、栄養が考えられた献立を、食材本来の味を活かした調理方法で提供し、子供達が沢山の栄養を取れる食事になっています。

また、各家庭で食べきれぬ量だけの料理を作る事は難しく、使い切れなかった食材を腐らせてしまう事もあるかと思えます。【アカデミー】では、ある程度の人数分の食事をまとめて料理することになるので食品ロスを減らすことが可能です。

また、地域の農家さんと契約し、スーパーなどでは出回らない規格外の野菜を大量仕入れることで、捨てられてしまう野菜を減らします。地域の農家さんの野菜を消費することにより地産地消や食糧自給率、地域の活性化等の社会貢献にも取り組みます。

～メニューの一例～

- ・牛乳+果実酢
- ・ご飯
- ・ミルク入りミネストローネ
- ・おから入りハンバーグ
- ・付け合わせ

※これは 1 日の献立としての一例です

近年お米を食べる人が減ってきています。お米はほぼ国内生産されていますが、そのことによりお米の国内消費が低下してきています。

【アカデミー】のメニューについては、栄養バランスのとれた国産のお米(ご飯)を積極的に提供し、ご飯のおかわりは自由にします。そしてなによりお米は 1 食に換算すればとても安価です。更に、お米は小麦に比べアレルギーは発症の確率は低い食材です。万が一小麦アレルギーの子がいてもその子は他のこと変わらない食事を食べることが出来ます(重症の場合を除く)。

子供達にお米を積極的に食べて頂く事で国内のお米の消費量の改善が可能になります。

そしてもう一つは国内の牛乳ロスを減らしたいと思っています。

実は現在家庭から廃棄される「捨てがちな食品」の1位は牛乳です。

その原因は牛乳の消費期限が短いことや、現代人の牛乳離れがあると思います。

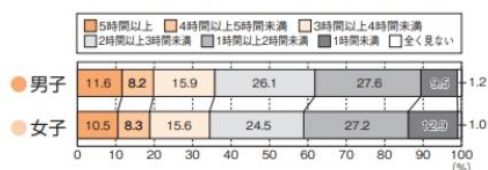
現在牛乳は学校給食でもほぼ毎日提供されているが、家庭での消費が少なく学校の長期休暇の時期などで捨てられてしまっている、という問題があります。

牛乳には子どもに必要な栄養素が沢山入っていることを伝え 飲み方の提案や、料理での牛乳の使用方法など、実際にアカデミー内での提供や献立の一部に取り入れて、アカデミー内でも積極的に牛乳を活用し、結果的に家庭での牛乳の消費向上を目指します。

また、おからなどの本来捨てられてしまうことが多い食材を積極的に使用したいと思っています。おからは栄養豊富なのですが料理のレパートリーが少ないイメージや、パサパサしていてあまり美味しくない…というイメージが定着しているようです。現在も頻繁には使用されていない印象ですが、簡単に美味しく作れるおから料理があることを知ってもらい各家庭での消費も高めたいと思っています。

② 共働き世帯や、シングルマザー世帯がとても増えている中、皆様は親子の団欒時間、コミュニケーションが取れる時間はどのくらいありますか。

**質問10** 平日（月～金曜日）について聞きます。1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。



子供達は家に帰ってきたら、携帯を触ったり、ゲームをしたり、自分部屋に行ってしまう、親子で時間を過ごすことは少ないかと思えます。

【アカデミー】では、親子でのコミュニケーションの時間も大切にしたいと考えております。お仕事をしていたり、子供が塾に通っていたりするとなかなか親子一緒に夜ご飯を食べられる機会は少ないですね。【アカデミー】で子供達と夜ご飯を共にすることにより、子供とのコミュニケーションの時間も取れ、家では見る事の出来ない子供同士の友人関係が見る事が出来ます。

当アカデミーの夜ご飯では、デザートを提供は考えておりません。その理由としては、家に帰るまでの道中に食後のデザートを買ったり、家で作ったりして家族で食べる時間を作って欲しいと思っています。

例えば誕生日の場合、「ケーキを買って帰宅し家族で食べる。」このような家庭内での時間も子どもにとっては大切な時間、大切な思い出になります。

このように家庭内でのコミュニケーション、家族の団欒の時間をもてるようなご飯の提供をしていきます。

また、ご飯を一緒に食べながら「食育\*」について学び・興味を持って頂く事、「人と人とのコミュニケーション力」や「人間関係の大切さ」を楽しく親子で学んでいただこうと考えております。

【アカデミー】で夜ご飯を食べる事が出来たら、親御さん達は作る手間が省けます。更に忙しさを軽減でき、子供達との団欒時間も増やすことができます。家に帰って子供達が部屋に行ってしまったとしても、【アカデミー】内で団欒時間を取ることができます。

食事後、親子で一緒に帰宅していただければ、子供達が一人になる時間がない為、犯罪等に巻き込まれる事も少なく、安心していただけるのではないのでしょうか。

#### \*食育とは

現在は便利になり(コンビニ、インスタント食品、冷凍食品など)手作りのごはんを食べる機会が減っています。加工食品の発展により、加工前の状態を知らない子どもがいます。(例：魚は切り身で泳いでいると思っている子)

- ・食べ物スーパーに行けば買える
- ・そもそも料理を知らない子
- ・自分達が今食べている肉が鶏肉なのか。食べている魚がアジなのか。キャベツなのにレタスだと言ってしまう子。 などが増えているように感じます。

その要因としては、

- ・両親共働きで頼れる親族が近くにいない
- ・シングルマザーで作っている時間がない
- ・子供が料理を手伝う機会がない、親が料理の手伝いをさせない などが挙げられます。

その要因は【アカデミー】で夕食を調理し、提供する事により解消できていると思っています。

まず、料理をしている人の姿が見えるようにし、調理前の野菜などが見れたり、料理の過程や料理方法を見ることが出来るような設計にします。

食事の準備や野菜の下処理、簡単な料理の補助など、子供達に夕食作りを積極的に参加していただきます。更に、食べ物や料理、調理方法、味付けなどにも興味をもてる環境にしていきます。これにより子どもの頃から「食」に関心、興味を持ち子どもの食選択の幅を広げ、大人になってから自分で“食べたいものを想像し、自分の意志で選択できるような知識”が持てるようになります。

また、社会に出る前の社会勉強の1つとして、自分が任された仕事(手伝い)をこなすことの大変さや、同じ仲間との連携やコミュニケーションの大切さを学ぶことが出来ると共に、料理をすることの大変さや料理をしてくれている人への感謝が持てるようになります。

【アカデミー】で夜ご飯を食べる事により、子供達と親御さんの両方にいい影響があると思っています。

(子供達へのいい影響)

栄養が考えられた献立を、食材本来の味を活かした調理方法で提供します。そのことによって学校給食だけでは食べることが出来なかった食材や、調理方法の料理を知ることも出来ます。なにより学校給食の時のように子供達は友達と一緒に楽しく夜ご飯を食べることが出来ます。また、共働きやシングルマザー等で親御さんにご飯が食べられない子供達の場合でも、【アカデミー】で一緒に食べる事が出来れば、コミュニケーションがとれる事もでき、食事を好きになると思います。

(親御さんへのいい影響)

子供には栄養バランスのとれた料理を食べさせてあげたいと思う親御さんが多いと思います。しかし、日々の仕事、家事をこなしながら限られている時間の中で、健康面・栄養面を考えながら作っていくことはとても大変です。どうしても忙しく、外食や、お弁当、お惣菜などを買うとこと考えると、その費用は高くなり、食費が原因で家計を圧迫されかねません。  
【アカデミー】で食事を提供することにより料理を作る手間が省け、費やしていた時間を他の事に有効活用できるようになります。また、食事代は1食250円で提供出来るように検討しており、家計にも優しく栄養もとれて一石二鳥です。

子供達が活動をする中で、「塾に入る」、「クラブに入る」など、活動場所は沢山ありますが、その活動場所に通わせてあげる為にはお金がかかってきます。高いお金払って塾等に通える子供もいますが、通えない子供もいます。

その為、子供の格差問題が取り沙汰されております。子供達に格差が生まれてしまい、やりたい事がやれない子供達は「機会の損失」に繋がってしまいます。

そのような事が無いように【アカデミー】では、低価格にて提供しております。

#### <料金について>

【アカデミー】を利用して頂く料金は、月5000円、食事希望の方は1食250円で提供できるように検討しております。とても安い金額設定にしているのは収入や育った環境によって格差が生まれてしまうと、その子供の今後の人生に大きく関わる為です。将来の選択を狭めたり諦めてしまう子供達いないように、低価格にて提供できるように努めます。しかし、子供達に合わせて幅広い知識・経験がある方に集まって頂くためには人件費やコストがかかります。その人件費、コスト等を最大限減らしていくための根拠が当社にはあります。

(低価格で提供できる根拠)

- ① ボランティアの募集
- ② 食材の確保
- ③ 道具の確保 を行う事で最大限コストを減らし、低価格にて提供いたします。



① ボランティアの募集を積極的に行っていきます。

少子高齢化時代も進み、共働き・シングルマザーの方が更に増えれば必要なサービスがどんどん増えていきます。しかし、近年の日本（行政サービス）は、プライマリーバランスがマイナス（赤字）の状態が続いており、黒字化の実現は既に困難な状況です。本来ならお金を払って人を雇い環境を整える事が当然ですが、現状では収入の伸び悩みや物価の高騰など、個人の支出にも限界があり、人を雇う事が難しい状況です。今後、行政サービスの向上が見込めない為、地域の繋がりを強め皆で協力し合う事や、ボランティアをして頂ける方への好意を自然と受けられる環境を作ることが重要になってきます。

例：電車で席を譲る。重そうな荷物を持っている人に「荷物持ちましょうか」と声を掛ける事が出来る方はどのくらいいるのでしょうか。

自分が特別な事をしているようで恥ずかしい、断られるかもしれない、鬱陶しいと思われるかもしれないと声を掛けられない方が多く、声を掛けられた側も断ったりする事もありますよね。当アカデミーはその環境がいけないと思っております。

皆が自然と助ける言葉を掛ける事ができ、言葉を掛けられた側も当たり前のように助けてもらう事が出来る環境を整えていかなければなりません。また、声を掛けられた側は「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えられる事が重要です。

【アカデミー】では、子供の頃から、ボランティアをする側に立つ環境・受ける側になった時の感謝の気持ちを言える教育をしていきます。

【アカデミー】でも、沢山の方にご協力頂きたいと考えております。

ボランティアを始めるきっかけは「スポーツが好き」、「好きな事を手伝いたい」、「子供と関わりたい」など様々な理由があります。きっかけは様々ですが、なかなか根付かない事が現状で、ボランティアが出来るゆとりのある方は少ないのかもしれませんが。

図2-2 「ボランティア活動」の男女、年齢階級別行動者率(平成28年)

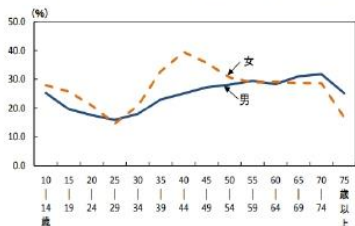
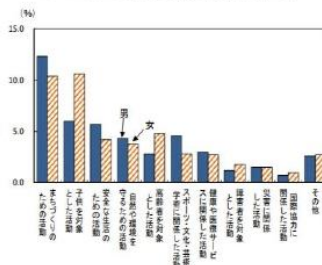


図2-4 「ボランティア活動」の種類、男女別行動者率(平成28年)



しかし、「ボランティアをやりたい気持ちがある」、「多少なら時間がある」、「経験・能力がある」方が気軽にボランティアに参加出来る仕組みを作る必要があります。

ボランティアといえば、完全無償のイメージではないでしょうか。

【アカデミー】では、完全無償ではなく、有償ボランティアとして活動していきます。お手伝い・ご協力して頂いた方への対価として現金ではなく地域通貨（クーポン）をお渡しする予定です。

お金の使い道は人それぞれですが、多くの人は、ネットショッピングや郊外への買い物などに使いますよね。対価として現金のお渡しではなく、地域通貨（クーポン）をお支払いしている理由は、地域の経済が潤う事・循環型の社会を作ることを目的としております。地域のみで使用出来る事により地域の会社・お店が潤う事が期待出来るため、その地域の人達も積極的に参加して頂けるようになるのではないのでしょうか。

地域の経済を潤す為・地域を発展させる為に有償ボランティア（副業）の様な形を作っていきます。更に、「完全無償ではないボランティア」が世間の皆様に浸透し、ボランティアを始めるきっかけになり、ボランティアをすることの抵抗を無くすことを目指しております。

・ボランティアの募集の中でも、若い世代（学生）のボランティアの募集。

スポーツ・勉強・PC関連等と幅広い知識・経験がある方に集まって頂き、子供達のやりたい事、夢に合わせて教えられる方を募集します。

【アカデミー】では学校終わりの時間から活動する為、夕方働ける学生の方は大歓迎です。若い世代の方達が来て頂き、子供達と沢山遊んだり、触れ合う事で、子供達との深い関わりが持てる事を期待しています。

子供達も若いの方が、親近感が持てたり、話しやすい環境が作れるかと思えます。今の時代、高校生でアルバイトを始める子が多いですが、学校でアルバイトを禁止している所も多くあります。

アルバイトをしたい理由としては「経済的に苦しくて働かなければならない子」や、「遊ぶお金の為に働く子」など、理由は様々です。

アルバイトで稼いだお金を手にした子供達は好きな事にお金を使ったり、間違った事に使ってしまうかもしれない為、親御さんも不安があるかと思えます。

その間違った所や危ない事に使って犯罪に巻き込まれる事を防止する為にも、現金ではなく、安心して使える地域通貨（クーポン）を対価として渡す予定です。その為、親御さんの不安を軽減させる事が出来るかと思えます。

また、ボランティアもアルバイトと同様、社会経験を積むことや、先輩や指導してくれる方がいる為、自分自身の教育の場となります。

・シニア世代の採用。



「少しでも働きたい」、「子供達と関わりたい」、「自分が体験したことを次の世代に伝えたい方」など、働いていただける方を募集します。未来ある子供達に触れ合い携われる為、とてもやりがいのある仕事です。様々な人達と接する事で、交流の場ともなり孤独死等の社会問題の軽減に繋がることも期待しております。

働く時間はフルタイムではなく、自分自身のタイミング・時間に合わせて働くことができ、お手伝い感覚として働いていただけます。また、有償ボランティアとして来て頂く事を検討しており、通常よりお渡し出来る金額は低いですが、対価として基本的には地域通貨(クーポン)をお渡しします。今後ボランティアを受けなければならない状態になった際に、安心して受けやすい状態を現段階から作っていきたいと思っております。

シニア世代の方々は子育てを経験している世代だからこそ、子供への教育の仕方や接し方を理解している事と思います。その為、子供達へ安心感を与え子供を預け易い環境を作っていけると考え積極的に採用していきます。

・親御さんのWワーク(お手伝い)の募集。

例えば、「Wワークしたいが、フルで働くことが出来ない」などの親御さんでしたら、子供を迎えに来た後の1時間でも子供達と遊んであげたり、ご飯作ったりして頂いた対価として現金の収入ではなく、地域通貨や夜ご飯代をもらわない等のサービスを受けて頂く予定です。その結果、親御さん達のやりがい・生きがいに繋がることを期待しています。

・夢を追いかける人、夢を諦めてしまった方の募集。

夢やプロを目指している方はとても苦勞が多いと思います。特に生活（収入）の為にフルタイムで働く方・長時間アルバイトをしている方、定職にはついていない方など様々です。働いている環境も良くなく、低収入や、悪条件の場所もあります。働くことで、練習をする時間が短くなってしまう事が現状で、両立が出来ず夢を諦めてしまう方も多いです。そのような方を【アカデミー】の正規スタッフとしてフルタイムで活動して頂きたいと考えております。

その方達の夢を目指すための環境を整え、練習する時間も確保していきます。

活動内容としては、野球のコーチ・トレーニングのメニュー作りなどに携わって頂きます。夢を持ち頑張っている姿を子供達に見せてあげることで、子供達のモチベーションややる気に繋がり、また、様々な職業を知るきっかけにもなり、その方達を応援することも出来ます。

以前に夢を諦めてしまったがもう一度やってみたい、昔の経験を活かして指導者、教育者として活躍したい方へはセカンドドリームとして「今まで得た知識・経験」を活かしながら子供達に伝え・教育して頂きます。【アカデミー】で子供達と関わる中で、生きがいを見つけて頂ければと思います。お手伝いをして頂いた対価として、地域通貨ではなく現金としてのお渡しを検討しております。

② 食材の確保

地域の農家さんに協力してもらい、子ども達に農業を体験出来る時間を作ろうと考えています。このことにより子ども達は野菜の育ち方や、野菜が育つまでの過程、作物を育てる大変さ知ることが出来ます。ご協力いただいた農家の皆様には、少ないですがお礼を渡す事も検討もしております。

地域の農家さんと契約しスーパーなどでは出回らない規格外の野菜を大量仕入れる事で捨てられてしまう野菜を減らします。お米も農家さんに協力してもらい市内、又は東葛地区や千葉県内産のお米を使用し、大量に購入します。

地域の農家さんの野菜やお米を消費することにより地産地消や食糧自給率、地域の活性等の社会貢献にも取り組みます。

地域の農家さんで購入する事で、運搬コストが削減でき、大量購入することにより個包装のパッケージのコストも削減できます。

また、障害者施設で生産された食材を積極的に購入いたします。

働きたくても雇用機会に恵まれていない方や、社会参加の場として提供された施設や事業所で食品生産を行う方々の元で食材を購入していきます。当社が積極的に購入することで、施設側の売上になり、障害者の方の賃金も上がる可能性があるため、障害がある方々の自立に大きく貢献できる可能性があります。

もちろん乾物や日持ちのする物も一括で大量購入し、これにより価格が抑えられ夕食 1 食分の価格が実現できます。今後アカデミーが増えていけばさらに購入数も増え低価格の実現が容易になっていきます。アカデミーである程度の人数分の食事をまとめて料理することになるので 食品ロスを減らすことも可能です。

### ③ 道具の確保

スポーツ等の活動をしていく上で道具等が必ず必要になるが、道具の調達は学校に掛け合い貸出・もしくは譲って頂けるよう手配を進めています。

使用していく中で故障や、破損する事が多くあります。

このプロジェクトを多くの人に認知していただき、賛同して頂けることでスポンサー確保を同時に行っていく必要性があります。

### <アカデミー参加条件>

【アカデミー】に参加していただく条件として、町内会の皆様にボランティアとしての協力をお願いしております。今、地域の繋がりが希薄になっており、「お隣の住んでいる人の顔がわからない」、「挨拶をしない事」も増えてきています。希薄になってしまった事で、不審な人が子供達に声を掛けていたとしても誘拐とは気付かない事や、近所のお年寄りが詐欺にあっている最中慌てていても、異変と思わず声を掛けたりしない事が多いと思います。

【アカデミー】としては、子供達の安心・安全の為に地域の皆様の繋がりを強くする事を第一に考えております。

地域の人との繋がりが強くなれば、誘拐等の事件の瞬間でも、声をかけたり、素早く対応する事ができます。ご近所のお年寄りが慌てていたら、お話を聞くことができます。

その他にも時間が空いた際に【アカデミー】を少しでも助けたい・手伝いに行けるなどの協力も頂けると思います。

地域の繋がりを復活することで、私達を含め地域の皆様で子供達に降りかかる犯罪を少しでも減少させる活動をする事が出来ます。

その為には町内会という組織としての皆様の協力が必要となる為、町内会の加入を唯一の条件とさせて頂いております。

## <障害者の支援>

福祉サービスのひとつに、就労継続支援というものがあります。

就労継続支援とは、企業などで働くことが困難な場合に、障害や体調にあわせて自分のペースで働く準備をしたり、就労訓練や仕事を行うことができます。その中で、就労の機会を提供するとともに、活動を通じて知識・能力の向上を目指している支援です。

就労継続支援はA型・B型の二種類があり、その中でも目的や対象、雇用契約、工賃(賃金)の有無などそれぞれに違いがあります。

### 令和2年度の平均工賃(賃金)実績の概要

施設種別	平均工賃(賃金)		事業所数 (0※)	令和元年度	
	月額	時間額		月額	時間額
就労継続支援A型 (対前年度比)	76,114円 (106%)	961円 (94.6%)	97 (95)	71,804円	1,015円
就労継続支援B型 (対前年度比)	13,477円 (88.5%)	191円 (93.1%)	410 (408)	15,215円	205円

#### (現状)

今の世の中、地方財政は極めて厳しい現状であり、障害者サービスについては地域差が大きい事が現状です。

特に就労継続支援 B 型は生産物に対する成果報酬が賃金ではなく工賃として支払われると共に雇用契約を結ばないため、時間で割ると工賃が低く、最低賃金額より下回ることが多いと言われてしています。

障害者施設は国からの補助金がありますが、人件費にお金がかかります。更に、現状利益が上がりにくい為、働いている方々の賃金もなかなか上がりません。

#### (当アカデミーの取り組み)

当アカデミーでは障害者施設で生産された既存の生産物の購入を行っていきます。

既存で生産していない物でも、【アカデミー】で使用するノート・鉛筆・石鹸等の生産も可能な限りお願いしたいと思っています。現状、障害者施設で生産していないようであれば生産出来るか提案し、継続購入できるようお話を進めていきたいと考えております。

生産物の購入の際は、適正な仕入れ価格にて継続購入することにより、経営の安定になり障害者の方の賃金も上がる可能性や施設の財政負担の軽減に繋がります。

継続購入で経営が安定すれば、障害者の方が雇用契約を結んで頂ける可能性が生まれ、障害がある方々の自立した生活に大きく貢献できると思います。

更に【アカデミー】に障害者の方を招いたり、一緒に楽しめるイベントを企画し、楽しんでもらう事や、やり甲斐を感じて頂ける機会を増やしていきます。

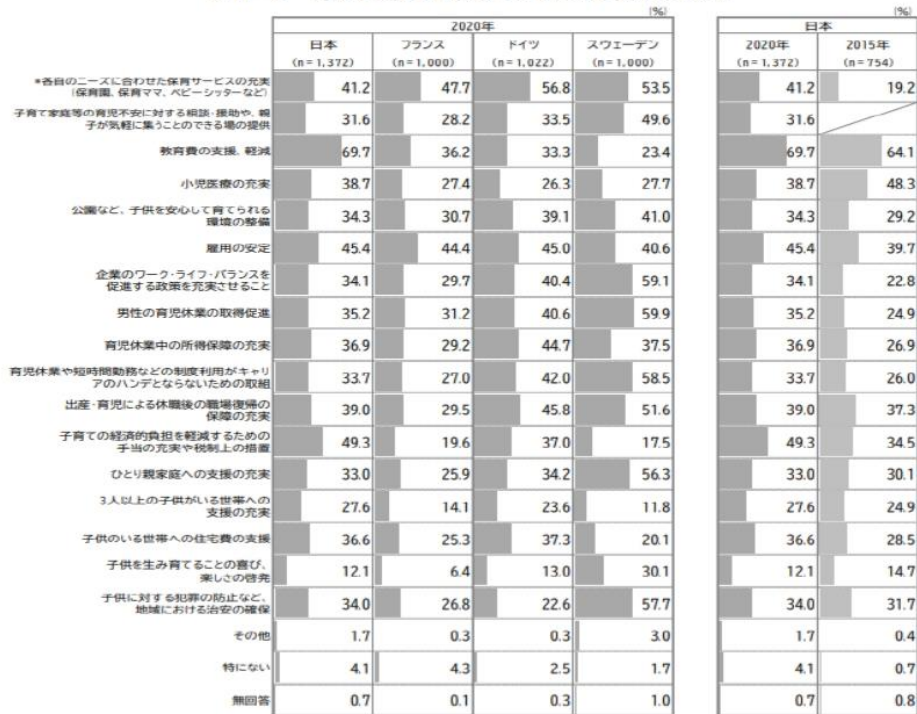
【アカデミー】では、障害者の労働条件の改善や仕事に対するやり甲斐を持っていただくため、積極的に支援をしていきます。

### <子育ての町、柏市に向けて>

現在の日本は、人口に占める高齢者の割合が増加する高齢化と、出生率の低下により若年者人口が減少する少子化が同時に進行する少子高齢化社会となっています。

少子高齢化が進んでいる原因は様々ですが、日本の約 6 割の方が子供を育てにくい国と回答しており、子育てをする環境が整っていない事も一つの原因として挙げられています。その原因として、子育てと仕事の両立が難しい環境や、育児に対しての心理的・肉体的負担も大きい事、子育てに対するコストが高くなっている事が考えられます。

図VI-6 育児を支援する施策として何が重要かについて



\*2015年は「各目的のニーズに合わせた保育サービスの充実」で聴取  
注：「無回答」について、2015年は「わからない」という項目になる。

### (解決案)

【アカデミー】では、子育て環境の改善が期待できます。

放課後に子供達を安全にお預かりする事や、夜ご飯を提供する事で家事負担を減らし、時間にゆとりを作ることが出来ます。親御さん達がお手伝いをしに来て頂いた時や、お迎え時に親同士でコミュニケーションが取れる為、育児の悩みが相談出来たりします。その為、一人で抱え込まず精神的ストレスを軽減させることが出来ます。

また、当アカデミーの利用料金は月 5000 円、食事希望の方は 1 食 250 円で提供できるよう検討している為、経済的負担も和らげる事ができると思います。

更に子供達が様々な事に体験・経験出来る場となっている為、子供達の成長を伝えあい楽しみや喜びを味わえる環境をつくります。

その結果、【アカデミー】がある地域は子育てがしやすいと思って頂けるようになり、利用していただけるご家庭が増える事を期待しています

鹿児島県徳之島では、「子宝島にんにく」を使用して、「地域おこし」に力を入れています。



奄美群島の南部に位置する徳之島は長寿の島と呼ばれており、子供が生まれる数も年々増加していることから、通称「子宝島」と呼ばれており、子供が大切に育てられています。徳之島は天城町・伊仙町・徳之島町からなり、加工センターを置く伊仙町は、長年出生率1位であり、3町で1位から3位を独占した事もあります。

徳之島に 1200~1400 年以前から存在する「古源泉（ふるげんごーいじゅん）」の湧き水を栽培に使用しています。

この泉はその昔、遣唐使が派遣された時から水の供給地として重宝されてきました。また、泉が子宮の形をしていることから安産祈願の地としても島民に愛されている泉です。

徳之島の「子宝島にんにく」は共感する箇所も多く、協力・応援したいと思う為、【アカデミー】の献立でも使用していきたいと思っております。

地域の皆さんで子供を大切にしたい事はとても共通しており、地域の繋がりを強めていければ自然と子供を育てやすい市になります。

更に出生率も上がっていけば、少子高齢化の要因を少しでも減らすことが期待出来ます。

また、「小宝島にんにく」の使用だけでなく、年に1度子供達の課外授業（サマーキャンプ）を徳之島で行います。教育の一貫として、サンゴの養殖・木の植樹を体験してもらいます。子供の内から自然に対する意識が少しでも変化し、自然に対する行動が少しでも変わっていく



事を期待しており、将来的な自然保護活動をしていけるよう活動していきます。

子供はもちろん、大人も徳之島でサンゴの養殖体験や、自然保護活動をしていく事が貴重な思い出となり、財産にもなります。養殖活動を通じて今の徳之島の現状を目で見て、自らの手で体験する事で美しい自然を守っていかなければならないという意識を高める事が出来ます。

サンゴの養殖では、サンゴにネームプレートを付ける事も可能です。ネームプレートが付けられたサンゴは愛着がわき、思い出になりますよね。子供の頃にその体験が出来れば、大人になった際に「自分達が植えたサンゴどうなったかな」「綺麗になったかな」「自分の子供に見せたい・自慢したいな」と思う事でしょう。

子供が大人になり、自分の子供に見せる事が出来たら、その子供は「パパ・ママ凄いね！！」という関心にもなり自分もやりたいと思ってくれるかもしれません。

その子供も自然に対する意識の変化や、自ら自然保護の活動を行ってくれるようになればとても良いサイクルが出来ます。

結果的に、「観光しに徳之島に行きたい」という気持ちよりも「自分達が養殖したサンゴを見に行きたい」と徳之島に来てくれる方が増える事により、観光業の振興にも繋がります。



また、徳之島の子供達を【アカデミー】に招待する事も検討しています。

子供達同士の交流を深める事や、お互いの文化に触れ合う事を目的としております。

異なる環境に居る子供達は、普段関わる事が少ない為、良い経験となり、お互いの良い所・考え方・行動を吸収出来るいい機会になるはずです。

### <子供達の未来の為に>

【アカデミー】は、本来の部活動の姿ではなく、子供達が夢をもってもらう環境を作り、様々な体験が出来る場所として活動していきます。

「スポーツ」、「文化系」、「芸能系」については、あくまでも子供達が体験をする場としており、「勉強」については、予習・復習・宿題等を見る場として活動する事を大事にしております。

様々な事を体験していく中で、子供達がやりたい事を選択する事が一番ですが、親御さんも負担が少なく気軽に参加していただき、子供達と一緒に決めて頂ける事が理想です。

【アカデミー】の最終目標は、子供達に最適な環境をアテンドしていくことです。

子供達がやりたい事が決まった際に、目標に合わせて詳細な情報を伝えていくアテンドシステムを今後確立していきます。

(アテンドシステムとは)

まず、親御さんと子供達とヒアリングをしていきます。「どのようなチームがいいのか」、「目標（目指している場所）はどこか」、「費用はどのくらい掛かるのか」、「将来的（高校・大学等）までやりたいのか」など様々な条件を聞いていきます。条件を聞いた中で、「〇〇塾がいいよ」「〇〇チームが合いそう」「〇〇学校が合いそう」などのその子供達にあった紹介をしていきます。

アテンドすることにより更に良い環境で子供達が「やりたい事」を出来るようにしていきます。アテンドした場所に入り、勉強を頑張っていく事や野球選手を目指し、大学・プロへと夢を見るかもしれない、万が一、中学生で野球に区切りをつけたとしても、そこで出会った友達との付き合いや学んだことは今後の人生に生きてくる大事な経験になります。

小さい頃から「スポーツ」、「文化系」、「芸能系」、「勉強」など幅広く体験し、子供達へ選択する機会をつくり、勉強が嫌いな子でも「スポーツなら輝ける」、「文化なら輝ける」などの可能性を伝えられる場を私達大人は無くしてはいけなとと考えております。

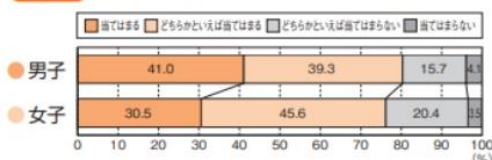
質問5-4 質問5 で、「文化部」「所属していない」と答えた人（運動部や地域のスポーツクラブに所属していない）は、どのような条件があれば、運動部活動に参加したいと思えますか。当てはまるものを全て選んでください。



アテンドしたクラブチームや学校を実際に見て、体験できるようなイベントも企画しております。例えば、行きたい学校やクラブチームがあった場合、【アカデミー】と学校で企画をし、学園祭のようなイベントを設け、学校の雰囲気が味わえる見学会を検討します。

今の子供達は「自分で選択する」という経験が少なく「学校や仕事をなんとなく決めている」ことが多いのが現状です。その為「物事に責任をもつ」という考えも少ないです。

**質問33** 「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している」は、あなたにどれくらい当てはまりますか。



その現状がマイナスの印象になっているため、【アカデミー】では子供達が「自分自身で選択する」という行為が出来るようになる場として活動していきます。

【アカデミー】でアテンドし、今後やりたい事が決まったとしても、収入や環境で夢を諦めなければならない子供達が出てきてしまうかもしれません。「頑張ろう」、「やってみよう」と思った子供達が夢を諦めてしまう事は絶対にあってはなりません。

当アカデミーは、全ての子供達がやりたい事に挑戦できる「機会の平等化」をしていきます。

「実力がある子」「やる気がある子」には「奨学金制度」を取り入れて、お金の不安なく安心して挑戦できる制度（環境）を構築していきます。

地域の皆様やボランティアの方々のお力を借り、未来ある子供達に様々な選択をさせてあげるためにも、【アカデミー】の設立を目指します。